

1例。第6回脳神経外科中部地方会，1982，6，名古屋。

14) 西嶋美知春，岡伸夫，神山和世，遠藤俊郎，高久晃：Spontaneous CCF に対する copper needle insertion。第6回北日本脳神経外科連合会，1982，6，盛岡。

15) 岡伸夫，遠藤俊郎，堀江幸男，西嶋美知春，高久晃，樋口紘：巨大中大脳動脈瘤の2症例。第6回北日本脳神経外科連合会，1982，6，盛岡。

16) 神山和世，岡伸夫，平島豊，岩井良成，高久晃，塚本栄治：ガラス片による経眼窩頭蓋内穿通外傷の3症例。第6回北日本脳神経外科連合会，1982，6，盛岡。

17) 中田潤一，甲州啓二，斉藤隆景：単純ヘルペス脳炎の一例。第6回北日本脳神経外科連合会，1982，6，盛岡。

18) 片山喬，柳重行，小池宏，寺田為義，遠藤俊郎，中村泰久：男性不妊とプロラクチンとくに高プロラクチン血症による男性不妊症例について。日本アンドロロジー学会第1回学術大会，1982。

19) 新井研治，中田潤一，岡伸夫，甲州啓二，遠藤俊郎，高久晃：巨大前交通動脈瘤の1手術例。第20回北日本脳神経外科集団会，1982，9，富山。

20) 大辻常男，平尾正人，堀江幸男，西嶋美知春，遠藤俊郎，高久晃：脳血管閉塞に合併した慢性硬膜下血腫の2例。第20回北日本脳神経外科集団会，1982，9，富山。

21) Nishijima M., Takaku A., Watanabe T., Yoshimoto T. and Suzuki J.: Sequential changes in nerve cells during complete ischemia and the preventive effects of various drugs. IXth International Congress of Neuropathology, 1982, 9, Vienna, Austria

22) 遠藤俊郎，岡伸夫，西嶋美知春，平尾正人，高久晃，塚本栄治：治療予後よりみた頸動脈血栓内膜切除術の手術適応。第41回日本脳神経外科学会総会，1982，10，東京。

23) 神山和世，岩井良成，平島豊，甲州啓二，遠藤俊郎，高久晃：Oxy Hb 誘発による脳血管攣縮と denervation supersensitivity. 第41回日本脳神経外科学会総会，1982，10，東京。

24) 甲州啓二，中田潤一，堀江幸男，岡伸夫，遠藤俊郎，高久晃，斉藤建夫：電気分解による局所脳血流測定—単極電極の開発とその臨床応用—。第25回脳循環代謝研究会，1982，10，東京。

25) 平島豊，神山和世，甲州啓二，西嶋美知春，

遠藤俊郎，高久晃：虚血脳の phospholipase A₁, A₂, lysophospholipase および acyl CoA : lysophospholipid acyltransferase の経時的变化—barbiturate の影響—。第25回脳循環代謝研究会，1982，10，東京。

26) 山谷和正，甲州啓二，西嶋美知春，平島豊，遠藤俊郎，高久晃：血管走行異常にもとづく若年者一側性視野狭窄の1例。第7回脳神経外科中部地方会，1982，11，名古屋。

27) 本敦文，中田潤一，岡伸夫，遠藤俊郎，高久晃，紺田健彦，佐々木博，北川正信：頭蓋内腫瘍形成を認めた急性骨髄性白血病 (APL) の1例。第7回脳神経外科中部地方会，1982，11，名古屋。

整形外科学

教授	辻	陽	雄
助教授	玉	置	哲也
講師	伊	藤	達雄
講師	館	崎	慎一郎
助手	山	田	均
助手	野	口	哲夫
助手	本	江	卓
助手	加	藤	義治
助手	海	木	玄郷
文部技官	佐	野	明美

◆ 著 書

1) 辻陽雄：第2章，整形外科診断学，III. 検査法。「標準整形外科学（第2版）」広畑和志他編，77-122，医学書院，1982。

2) 辻陽雄：第4章，疾患総論，I. 骨関節の感染症。「標準整形外科学（第2版）」広畑和志他編，180-197，医学書院，1982。

3) 辻陽雄：化膿性脊椎炎。「整形外科疾患ケーススタディ—60例のPO研修」辻陽雄他編，7-12，医学書院，1982。

4) 辻陽雄：化膿性股関節炎。「整形外科疾患ケーススタディ—60例のPO研修」辻陽雄他編，13-18，医学書院，1982。

5) 辻陽雄：Scheuermann病。「整形外科疾患ケーススタディ—60例のPO研修」辻陽雄他編，92-96，医学書院，1982。

6) 館崎慎一郎：骨肉腫。「整形外科疾患ケーススタディ—60例のPO研修」辻陽雄他編，110-115，医学書院，1982。

7) 館崎慎一郎：骨嚢腫。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，123-128，医学書院，1982。

8) 玉置哲也：Cubital tunnel syndrome。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，174-179，医学書院，1982。

9) 玉置哲也：フォルクマン様拘縮。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，180-185，医学書院，1982。

10) 伊藤達雄：頸椎椎間板ヘルニア。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，193-199，医学書院，1982。

11) 伊藤達雄：頸椎後縦靭帯骨化症。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，200-205，医学書院，1982。

12) 辻 陽雄：腰部脊柱管狭窄。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，218-224，医学書院，1982。

13) 辻 陽雄：脊椎すべり症。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，225-230，医学書院，1982。

14) 辻 陽雄：硬膜内髄外腫瘍。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，231-236，医学書院，1982。

15) 伊藤達雄：頸椎脱臼骨折。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，295-302，1982。

16) 玉置哲也：手指の屈筋腱損傷。「整形外科疾患ケーススタディ——60例の PO 研修」辻 陽雄他編，324-328，医学書院，1982。

17) 館崎慎一郎，辻 陽雄：腎癌骨転移。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，146-147，日本メルク萬有，1982。

18) 高野治雄，辻 陽雄：ピクノディソストーシス。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，190-191，日本メルク萬有，1982。

19) 伊藤達雄，辻 陽雄：頸部脊椎症。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，200-201，日本メルク萬有，1982。

20) 館崎慎一郎，辻 陽雄：前立腺癌脊椎転移。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，214-215，日本メルク萬有，1982。

21) 伊藤達雄，辻 陽雄：結核性脊椎炎。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，216-217，日本メルク萬有，1982。

22) 辻 陽雄：腰部脊柱管狭窄。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，220-221，

日本メルク萬有，1982。

23) 辻 陽雄：腰椎椎間板ヘルニア。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，222-223，日本メルク萬有，1982。

24) 辻 陽雄：脊椎すべり症。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，224-225，日本メルク萬有，1982。

25) 辻 陽雄：仙骨脊索腫。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，230-231，日本メルク萬有，1982。

26) 山田 均，辻 陽雄：習慣性膝蓋脱臼とOsteochondral fractureによる関節血腫。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，288-289，日本メルク萬有，1982。

27) 寺沢捷年，辻 陽雄：シャルコー・マリー・トウス病。「骨・関節疾患のチェックポイントQ & A」辻 陽雄他編，332-333，1982。

28) 辻 陽雄：退行性変性(変形性腰痛)。「図説臨床整形外科講座3，腰椎・仙椎」池田亀夫他監修，94-109，メジカルビュー社，1982。

29) 館崎慎一郎：結節性筋膜炎。「図説臨床整形外科講座13，腫瘍性疾患」阿部光俊他編，129-130，メジカルビュー社，1982。

30) 伊藤達雄：脊髄・馬尾手術術後感染症。「図説臨床整形外科講座11，感染症」池田亀夫他編，250-255，メジカルビュー社，1982。

31) 辻 陽雄：IV，正常X線像と計測法，計測値など，A，脊柱。「整形外科診察ハンドブック」山本真他編，168-191，南江堂，1982。

32) 辻 陽雄：整形外科診断の基本と記載。「整形外科診断学」辻 陽雄他編，1-7，金原出版，1982。

33) 辻 陽雄：整形外科的計測法と解剖学的ランドマーク。「整形外科診断学」辻 陽雄他編，9-20，金原出版，1982。

34) 伊藤達雄：頸椎の検査。「整形外科診断学」辻 陽雄編，175-227，金原出版，1982。

35) 辻 陽雄：腰椎の検査。「整形外科診断学」辻 陽雄他編，303-336，金原出版，1982。

36) 福岡久俊，館崎慎一郎：骨腫瘍の鑑別診断。「整形外科診断学」辻 陽雄編，567-582，金原出版，1982。

37) 福岡久俊，館崎慎一郎：軟部腫瘍の鑑別診断。「整形外科診断学」辻 陽雄他編，583-593，金原出版，1982。

38) 辻 陽雄：整形外科に必要な臨床検査と意義。「整形外科診断学」辻 陽雄他編，603-609，金原

出版, 1982.

39) 伊藤達雄: C_{1/2} lateral puncture によるミエログラフィー. 「整形外科診断学」辻 陽雄他編, 680-683, 金原出版, 1982.

40) 辻 陽雄: 瘻孔, 膿瘍造影法. 「整形外科診断学」辻 陽雄他編, 711, 金原出版, 1982.

41) 玉置哲也: 整形外科特殊診断法, Q. 臨床神経生理学的検査法. 「整形外科診断学」辻 陽雄他編, 764-799, 金原出版, 1982.

42) 辻 陽雄: TEST, SIGN および SYNDROME. 「整形外科診断学」辻 陽雄他編, 809-819, 金原出版, 1982.

43) 伊藤達雄: 頸部 X 線診断——単純 X 線検査——. 「整形形成外科診療 Questions & Answers」井上哲郎他編, 284-287, 六法出版, 1982.

44) 伊藤達雄: 頸部牽引療法. 「整形形成外科診療 Questions & Answers」井上哲郎他編, 316-319, 六法出版, 1982.

45) 伊藤達雄: 頸部脊椎症——保存療法——. 「整形形成外科診療 Questions & Answers」井上哲郎他編, 342-345, 六法出版.

46) 山田 均, 辻 陽雄: リウマチ患者の頸椎障害. 「整形形成外科診療 Questions & Answers」井上哲郎他編, 356-361, 六法出版.

◆ 原 著

1) 伊藤達雄, 辻 陽雄, 玉置哲也, 本江 卓, 高野治雄: 頸部脊柱管拡大術. 中部日本整災誌 25: 112-114, 1982.

2) Takano H., Noguchi T., Tamaki T. and Dincer M. D.: The additive effects of asphyxial anoxia and spinal cord compression to the spinal cord function. Electroencephalography and Clinical Neurophysiology 54: 31, 1982.

3) Tsuji H.: Laminoplasty for patients with compressive myelography due to so-called spinal canal stenosis in cervical and thoracic regions. Spine 7: 28-34, 1982.

4) 伊藤達雄, 辻 陽雄: En-bloc 方式による頸部脊柱管拡大術. 別冊整形外科 2: 241-248, 1982.

5) 伊藤達雄, 館崎慎一郎: 慢性関節リウマチによる頭蓋底陥入症の臨床的考察, Pentaplegia: 神経症状発現のメカニズムとその治療法について. 別冊整形外科 2: 139-146, 1982.

6) 玉置哲也: 臨床神経生理学的検査法の整形外科診断への応用. 日整会誌 56: 255-267, 1982.

7) 辻 陽雄, 玉置哲也, 伊藤達雄, 館崎慎一郎,

山田 均, 野口哲夫, 本江 卓, 高野治雄, 浦山茂樹, 松井寿夫, 岡野良文: 形成的腰部椎間板髄核摘出術, (第2報) その後の成績と知見. 中部日本整災誌 25: 652-653, 1982.

8) 玉置哲也, 宮田美恵子, 加藤義治, 伊藤達雄, 辻 陽雄: 脊柱側弯症に対する新しい under arm brace (The New York Orthopedic Hospital Orthosis) の使用経験. 中部日本整災誌 25: 986-968, 1982.

9) 海木玄郷, 久世照五, 里村 敬, 佐藤祐次, 伊藤祐輔: 癌性疼痛に対する10%高張食塩水, 高比重ネオパルカミンS[®]の持続硬膜外注入の経験. 麻酔と蘇生 18: 65-70, 1982.

10) 本江 卓, 辻 陽雄, 高野治雄, 浦山茂樹, 佐野明美: 椎間板線維輪構築に関する Topographical study (第2報) ——とくに成人腰椎椎間板について——. 日整会誌 56: 1127-1129, 1982.

⑪ 辻 陽雄, 玉置哲也, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 山田 均, 野口哲夫, 本江 卓, 加藤義治, 大内純太郎: 前側方腹膜外路による形成的腰椎椎間板髄核摘出術 (EPALD). 日整会誌 56: 1129-1130, 1982.

12) 山田 均, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 玉置哲也, 浦山茂樹, 守屋秀繁, 上野正純, 神代靖久: 膝蓋大腿障害に対する dynamic patellar brace の使用経験. 臨床整形外科 17: 1160-1164, 1982.

13) 伊丹康人, 辻 陽雄, 山田 均, 他名: Alfacalcidol (1 α -OH-D₃) の骨粗鬆症に対する効果——多施設二重盲検法による比較——. 医学のあゆみ 123: 958-973, 1982.

14) 野口哲夫, 館崎慎一郎, 本江 卓, 玉置哲也, 岡野良文, 宮田美恵子: RA における寛骨臼底突出症の4例. Hip Joint 8: 229-236, 1982.

15) 辻 陽雄, 館崎慎一郎, 伊藤達雄: 転移性脊椎腫瘍にたいする Ceramic Spacer Replacement の問題点. Orthopaedic Ceramic Implants 1: 181-186, 1982.

16) 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 山田 均, 大内純太郎, 辻 陽雄: RA による Basilar Impression の手術的治療の経験. 日本リウマチ・関節外科学会雑誌 1: 101-106, 1982.

◆ 総 説

1) 伊藤達雄, 寺法捷年: ——診断から薬剤選択へ——, 関節炎・腱鞘炎. 総合臨床 31: 2618-2624, 1982.

2) 辻 陽雄: 腰痛の病態と治療のこつ. 図説: 疼痛性疾患シリーズ 1, 吉富製薬, 1982.

◆ その他

1) 辻 陽雄：小児の脊椎分離症と脊椎すべり症。日本医事新報，No. 3036，133-134，1982。

2) Tamaki T. : Functional electrical stimulation utilizing the implant peripheral nerve stimulation —its problems and prospective view—. Proceedings of the Rehabilitation Engineering International Seminar-1982，59-71，1982。

3) 辻 陽雄，館崎慎一郎，高野治雄：ハリホットの使用経験。薬理と治療 10：463-469，1982。

4) 館崎慎一郎，大内純太郎，岡野良文，辻 陽雄：整形外科領域におけるアドフロベン（フルルビプロフェン貼付剤）の臨床経験。薬理と治療 10：4219-4227，1982。

◆ 学会報告

1) 館崎慎一郎，野口哲夫，大内純太郎，岡野良文，龍村俊樹，村上 新，北川正信：初診時より肺転移がみられた骨肉腫の一症例。第6回北陸呼吸器疾患懇談会，1982，1，富山。

2) 辻 陽雄：腰部脊柱管狭窄症，——その概念と治療法。腰痛シンポジウム，1982，1，札幌。

3) 野口哲夫，玉置哲也，館崎慎一郎，大内純太郎，岡野良文：踵骨々折に合併した tarsal tunnel syndrome について。第82回北陸整形外科集談会，1982，2，金沢。

4) 館崎慎一郎，大内純太郎，浦山茂樹，岡野良文，宮田美恵子：本院で治療された骨転移癌について。第82回北陸整形外科集談会，1982，2，金沢。

5) 高野治雄：肩甲骨ならびに肩関節下方脱臼の治療例。第8回北陸骨傷研究会，1982，3，金沢。

6) 伊藤達雄，山田 均，加藤義治，岡野良文，辻 陽雄：頸部脊柱管拡大術，第55回日本整形外科学会総会，1982，3，福岡。

7) 本江 卓，辻 陽雄，高野治雄，浦山茂樹，佐野明美：椎間板線維輪構築に関する Topographical study (第二報)，とくに成人腰椎椎間板について。第55回日本整形外科学会総会，1982，3，福岡。

3) 辻 陽雄，玉置哲也，伊藤達雄，館崎慎一郎，山田 均，野口哲夫，本江 卓，加藤義治，大内純太郎：前側方腹膜外路による形成的腰椎椎間板髓核摘出術 (EPALD)。第55回日本整形外科学会総会，1982，3，福岡。

9) 辻 陽雄：前側方腹膜外路による形成的腰部椎間板髓核摘出術 (EPALD) ——映画。第55回日本整形外科学会総会，1982，3，福岡。

10) 山田 均，館崎慎一郎，伊藤達雄，浦山茂樹，

玉置哲也，辻 陽雄，守屋秀繁，上野正純，神代靖久：膝蓋大腿障害に対する dynamic patellar brace の使用経験。第58回中部日本整形外科災害外科学会，1982，4，大津。

11) 松井寿夫，藤井保寿，大内純太郎，高野治雄，浦山茂樹，高野 祐，館崎慎一郎，北川正信，深瀬真之：骨盤骨に原発せる非分泌型骨髄腫 (IgG-K) の1症例。第58回中部日本整形外科災害外科学会，1982，4，大津。

12) 伊藤達雄，辻 陽雄，山田 均，加藤義治，浦山茂樹：Developmental narrowed canal of the atlas。第11回脊椎外科研究会，1982，6，東京。

13) 山田 均，伊藤達雄，野田哲夫：上位頸髄圧迫障害における主病変と脊髓症状レベルの不一致に関する臨床的考察。第11回脊椎外科研究会，1982，6，東京。

14) Tsuji H., Tamaki T., Itoh T., Tatzaki S., Yamada H., Noguchi T. and Motoe T. : Redundant Nerve Roots in Patients with Degenerative Lumbar Spinal Stenosis. International Society for the Study of the Lumbar Spine, 1982, 6, Toronto.

15) 海木玄郷：腰仙部脊髄神経へ腫瘍浸潤による頑痛に対し、坐骨神経ブロックで痛みの軽減した一症例。富山県麻酔科医会昭和57年度第1回研究会，1982，6，富山。

16) 藤井保寿，高野 祐，松井寿夫，岡野良文：広範囲に壊死化した小児の大腿骨および軟部組織に対する治療経験。第83回北陸整形外科集談会，1982，6，金沢。

17) 山田 均，伊藤達雄，館崎慎一郎，平野典和，小田切喜美子：仙骨部の褥創に対する Gluteus maximum island musculocutaneous flap の治療経験。第83回北陸整形外科集談会，1982，6，金沢。

18) 高野治雄，玉置哲也，山田 均，森田多哉，高桑一彦，西島宗孝，岡野良文：保存療法が適応となった tibia vara の症例について。第83回北陸整形外科集談会，1982，6，金沢。

19) Tamaki T. : Functional electrical stimulation utilizing the implant peripheral nerve stimulation — its problems and prospective view —. Rehabilitation Engineering International Seminar, 1982, 7, Tokyo.

20) 松井寿夫，館崎慎一郎，辻 陽雄，佐野明美：四肢原発悪性腫瘍にたいする術前療法の基礎的研究——第4報——。第15回骨・軟部腫瘍研究会，1982，7，東京。

- 21) 伊藤達雄：椎管狭窄頸髄症に対する椎弓形成的椎管拡大術。第15回脊椎外科同好会。シンポジウム，1982，8，出雲。
- 22) 伊藤達雄：RAによる頸椎病変——手術症例を中心として——。第11回北陸リウマチ研究会，1982，9，富山。
- 23) 高桑一彦，野口哲夫，加藤義治，海木玄郷，高野治雄，森田多哉：のう胞状陰影を示した膝蓋骨結核の1例。第84回北陸整形外科集談会，1982，9，富山。
- 24) 西島宗孝，館崎慎一郎，山田均，宮田美恵子，堤博史：軟骨板の脱出を伴った若年性腰部椎間板ヘルニアの一症例。第84回北陸整形外科集談会，1982，9，富山。
- 25) 白木徹一，館崎慎一郎：大腿骨遠位骨端骨梗塞の1例。第84回北陸整形外科集談会，1982，9，富山。
- 26) 岡野良文，藤井保寿，高野祐，松井寿夫：DIC様所見を示した広範囲熱傷の治療経験。第84回北陸整形外科集談会，1982，9，富山。
- 27) 田村茂，碓康子，松平洋子，玉置哲也，海木玄郷，伊藤達雄：Respiratory Quadriplegiaの1症例。北陸医学会総会，リハビリテーション分科会，1982，9，富山。
- 28) Itoh T. and Fujii Y. : Acquired basilar impression by rheumatoid arthritis. 7th Congress of Western Pacific Orthopaedic Association, 1982, 9, Perth, Australia.
- 29) 吉岡勉，辻陽雄，加藤義治，宮田美恵子，西能正一郎，西能竈：健常高校生の腰椎立位機能撮影における腰椎運動の幾何学的解析。第8回整形外科バイオメカニクス研究会，1972，10，東京。
- 30) 辻陽雄，高木学治：病態生理，労働者腰痛症の問題点(シンポジウム III)。第30回日本災害医学会，1982，10，東京。
- 31) 高野治雄，玉置哲也，野口哲夫，岡野良文，森田多哉，高桑一彦：脊髄刺激による脊髄誘発電位の棘波の成因に関する考察。第12回日本脳波・筋電図学会，1982，10，米子。
- 32) 野口哲夫，玉置哲也，高野治雄，高桑一彦，森田多哉，辻陽雄，山本智婦美：特発性側弯症における傍脊柱筋の伸張反射機能の左右差について。第12回日本脳波・筋電図学会，1982，10，米子。
- 33) 辻陽雄，野口哲夫，本江卓，森田多哉，小田切喜美子：白蓋底突出例の人工関節置換に対してのフィブリン糊を用いた骨移植の経験。第2回フィブリン糊研究会，1982，10，大阪。
- 34) 海木玄郷，伊藤達雄，館崎慎一郎，野口哲夫，高野治雄，西島宗孝，辻陽雄：RAによる下位頸髄障害の3手術症例。第16回日本リウマチ・関節外科学会，1982，11，東京。
- 35) 海木玄郷，山田均，平野典和，辻陽雄，加藤義治，伊藤達雄，小田切喜美子：高位脊髄損傷による respiratory quadriplegia の呼吸管理の経験。第17回パラプレジア医学会，1982，11，大阪。
- 36) 玉置哲也，辻陽雄，野口哲夫，山田均，海木玄郷，高野治雄，森田多哉，高桑一彦：脊髄誘発電位による馬尾神経間歇跛行の定量的観察の試み，第59回中部日本整形外科災害外科学会，1982，11，徳島。
- 37) 高野祐，藤井保寿，松井寿夫，岡野良文：大腿骨頸部骨折に対するエンダー法の問題点について。第59回中部日本整形外科災害外科学会，1982，11，徳島。
- 38) 本江卓，伊藤達雄，海木玄郷，浦山茂樹，平野典和，小田切喜美子，辻陽雄：腰部脊柱管狭窄におけるメトリザミドミエログラム知見補遺——とくに馬尾レリーフ像の静的動的変化と意義について——。第59回中部日本整形外科災害外科学会，1982，11，徳島。
- 39) 館崎慎一郎，伊藤達雄，加藤義治，松井寿夫，宮田美恵子，西島宗孝，辻陽雄，神代靖久：頸椎間板ヘルニアにおける Metrizamide Myelogram の精度。第59回中部日本整形外科災害外科学会，1982，11，徳島。
- 40) Tsuji H. : Current Understanding of Low Back Pain, with Particular Reference to the Degenerative Lumbar Spine, International Symposium on the Management of the Arthritides, 1982, 11, Kyoto.
- 41) 宮田美恵子，藤井保寿，高野祐，岡野良文，関谷繁樹：小児の上腕骨顆上骨折の治療成績について。第85回北陸整形外科集談会，1982，12，金沢。
- 42) 平野典和，海木玄郷，本江卓，伊藤達雄，神代靖久：Klippel-Feil 奇形に伴う頸髄損傷の1例。第85回北陸整形外科集談会，1982，12，金沢。
- 43) 小田切喜美子，本江卓，山田均，伊藤達雄，寺沢捷年：診断に苦慮した Cranio-spinal meningioma の1例。第85回北陸整形外科集談会，1982，12，金沢。
- 44) 伊藤達雄，辻陽雄，玉置哲也，山田均：頸椎脊柱管拡大術の臨床経験，第673回千葉医学会整形外科例会，1982，12，千葉。
- 45) 辻陽雄：整形外科領域における放射線診断

の動向 (特別講演). 富山県放射線技師会, 1982, 4, 富山.

46) 辻 陽雄: 腰痛性疾患の診断と治療——最近のトピックスから—— (特別講演). ニフラン研究会, 1982, 6, 大阪.

47) 辻 陽雄: 外来レベルにおける腰痛疾患の診断と治療 (特別講演). 福井県医師会講習会, 1982, 6, 福井.

48) 辻 陽雄: 腰部脊柱管狭窄の治療. 第4回宮崎整形外科懇談会, 1982, 6, 宮崎.

49) 辻 陽雄, 腰野富久, 井上駿一: 老年者に特有の整形外科的疾患, 医学特別番組「明日の治療指針」, ラジオ短波, 1982, 7.

50) 辻 陽雄: 腰の痛みなぜおこる, ——椎間板ヘルニア——. NHK テレビ, 健康クリニック, 1982, 7.

51) 辻 陽雄: 脊柱側弯症. 新湊市・射水郡医師会合同研修会, 1982, 10, 小杉町.

34: 1339-1343, 1982.

4) 高瀬善次郎, 白藤博子, 清水哲也, 橋本正淑, 真木正博, 泉 隆一, 川端正清他: 産婦人科領域における Piperacillin の基礎的・臨床的研究. 産婦世界 34: 1353-1367, 1982.

◆ 総 説

1) 柳沼 恣: 性機能異常特集—女性性周期の調節機構. 日本臨床 40: 1248-1255, 1982.

2) 柳沼 恣: 長距離ランナーの月経異常発生機構. 医学のあゆみ 122: 959-960, 1982.

3) 柳沼 恣: 月経異常と不性器出血. 臨床婦産 36: 867-872, 1982.

◆ 翻 訳

1) 柳沼 恣訳: 「妊婦のための薬剤ハンドブック」Berkowitz R. L., Coustan D. R. and Mochizuki T. K. 著, メディカルサイエンスインターナショナル社, 1982.

◆ 学会報告

1) Nakamura T., Nagasaka T. and Russell I. J.: Effect of Sulindac on Mitogenic Responses and Prostaglandins Synthesis, In Vitro by Human Leukocytes. The American Federation for Clinical Research, 1982, 1, New Orleans.

2) 藤盛亮寿, 須藤祐裕, 荒川 修, 柳沼 恣: 人工透析中の慢性腎不全患者の高プロラクチン血症の要因. 第34回日産婦学会総会, 1982, 4, 神戸.

3) 新居 隆, 泉 隆一, 柳沼 恣, 長阪恒樹, 川端正清, 八木義仁, 細川 仁, 加藤 潔, 山岸雅司: 婦人科悪性腫瘍における尿中 Hydroxyproline の臨床的意義. 第30回日産婦学会北日本連合地方部会, 1982, 9, 秋田.

4) 川端正清, 加藤 潔, 泉 隆一, 柳沼 恣, 長阪恒樹, 新居 隆, 八木義仁, 山岸雅司: 高カルシウム血症を伴った子宮頸癌IV期の1例. 第30回日産婦学会北日本連合地方部会, 1982, 9, 秋田.

5) 八木義仁, 泉 隆一, 柳沼 恣, 長阪恒樹, 新居 隆, 川端正清, 細川 仁, 加藤 潔, 山岸雅司: 類皮嚢胞腫の破裂について. 第10回日産婦学会北陸連合地方部会, 1982, 9, 福井.

6) 柳沼 恣, 泉 隆一, 長阪恒樹, 新居 隆, 川端正清, 八木義仁, 細川 仁: Danazol の視床下部下垂体卵巣機能に対する作用の再検討. 第55回日本内分泌学会秋季大会, 1982, 10, 京都.

7) 泉 隆一, 川端正清: 子宮頸癌の化学療法. 第7回北陸制癌問題研究会, 1982, 11, 金沢.

8) 柳沼 恣, 泉 隆一, 新居 隆, 藤盛亮寿: 高アンドロゲン血症と稀発月経との関連. 第27回日

産科婦人科学

教 授	泉	隆	一
助 教	柳	沼	恣
講 師	長	阪	恒
講 師	新	居	隆
助 手	川	端	正
助 手	八	木	義
助 手	加	藤	潔
助 手	山	岸	雅
助 手	丸	山	千

◆ 著 者

1) Nagasaka T., Winters W. D., Soriero O. M. and Harper M. J. K.: Prostaglandin production by squamous cell carcinoma of human uterine cervix *in vitro*, In Prostaglandins and Related Lipids, vol 2, by Powles T. J. et. al (Eds), 697 - 700, Alan R. Liss, Inc., New York, 1982.

◆ 原 著

1) 柳沼 恣: 無月経・稀発月経の新しい診断計画. 産婦治療 44: 139-142, 1982.

2) 柳沼 恣, 藤盛亮寿: 更年期症状を有する婦人の血中ゴナドトロピンに対する漢方薬の効果. 日本不妊誌 27: 34-39, 1982.

3) 柳沼 恣, 泉 隆一, 細川 仁: 使い捨て式3滴3分 HCG 定性反応キットの検討. 産婦世界